神戸植物学ことはじめ

白岩　卓巳

神戸には日本の文化を担った人が数々いた。私はかねてから，日本の植物学を陰から支えた人が２人，神戸にいたこと，しかし，その２人の偉大な業績についてはほとんど知られていないことを残念に思っていた。いつか機会をみつけ，資料などを掘り起こし記録に留めておきたいと考えていたが，ようやく一応まとめることができた。その２人の人物とは池長孟（いけなが　はじめ）と岡崎忠雄（おかざき　ただお）である。

・池長孟の場合

池長孟は，日本の生んだ世界的な植物学者牧野富太郎が貧困で困り果てていたのを救い，世話をして育てた恩人である。彼は神戸に池長植物研究所をつくり，牧野富太郎を神戸に呼ぶ一方，南蛮美術品を収集した。

・岡崎忠雄の場合

岡崎忠雄は，フランス人宣教師フォーリーが日本滞在の42年間に採集し集めた標本が，すべて日本から出て行くのを防ぎ，その一式を買い取り京都大学に寄付した。それは京都大学標本庫の基礎標本となるだけでなく，日本植物の基礎データとなっているのである。

池長孟と岡崎忠雄は共に神戸で住み，働き，共通して大正のほぼ同時代に義侠的な仲介的行動をとった人たちである。２人にとっては自分たちのとった行動がどれだけの価値をもっていたのか強く意識してはいなかったかもしれないが，今の世にどれほど大きな役割を果たしているか計り知れないものがある。前者の記録は神戸市教育委員会発刊の『教育こうべ』(1993年303号～1994年307号）に，その合冊したものを三宮プラザ皓祥館書店においている。後者は植物分類地理学会発行の『植物分類，地理』1995年（Vol.46）に掲載されているので参照願いたい。　　（しらいわ　たくみ：常任理事）

発足の頃

稲葉　明彦

兵庫県生物学会が創立50周年を迎えるという。敗戦直後の草創期に何かとお手伝いはしたものの，昭和23年(1948年)から広島文理大へ転じ，その後は『兵庫生物』3巻4号に短文を寄せさせて頂いた位で，いわゆる県外会員である。だから私の思い出は真っすぐに50年前に戻る。

兵庫県には昭和５年（1930年）発足した兵庫県博物学会（阿部良平会長）があり，会誌は菊版で地元の研究調査のみならず啓蒙的記事も多く，随分参考にさせていただいたが，20号で終刊となり，昭和16年（1941年）戦時統制によって兵庫県中等教育博物学会（山鳥吉五郎会長）と合併することになった。しかし戦局の逼迫と共にそのうち休刊となってしまった。

昭和20年秋復員後，前任校（京都師範，現京都教育大）へ高砂から通勤（正に痛勤であったが）していたが，縁あって翌春母校姫路中学へ転じ，若さを武器に，塗りつぶしだらけの教科書は使わず，自己流の生物（含地学）教育に情熱を傾けていた。生物同好会を作ったり，教員組合で熱弁をふるったお蔭で，青年部長にされたり，姫中教員の２年間は私にとって青春時代の最後でもあり強く心に残っている。

生物学会の復活を望む声は早くからあったが，戦災の大きかった都市部ではなかなかまとまらなかった。そのうち豊岡の雄山本茂信先生が但馬生物学会の旗揚げをされ（昭和22年１月），瀬戸内側は出遅れた。しかしこれが契機となって県下一円を対象とする生物学会の設立が具体化し，５月には明石の紅谷進二先生を中心に設立準備委員会ができ，私も先輩の先生方に加わって，会長は医大予科の森為三先生に頼もうとか，支部を多く作って小回りのきく活発な活動をとか，規約も作らなければとか，役員を如何するとか，何度も学校だけでなく室井先生宅や時には紅谷先生宅に集まって話し合った。規約原案作りでは室井綽，古林一実，山本茂信の３先生と稲葉が集まって，「簡明平易を旨として」作成した。若年で使われ易かったのか，授業以外は設立のお膳立てに明け暮れたものである。ともかく６月６日，明石小学校をお借りして創立総会を開催。森会長，紅谷理事長，理事，幹事など役員も決まり，兵庫県生物学会として発足できた。それからの１年は，各地支部の結成，支部毎の行事の支援など，性急すぎはしないかとも思えるスピードで生物学会はその基礎を固め，翌23年春には待望の『兵庫生物』第１号の発刊に漕ぎつけたのであった。ところが私がこの春急遽広島への転勤を決めたため，編集事務を室井綽，古川博二などの先生方にお願いする破目になり，相すまぬ事になった。

その年の夏，文理大臨海の瀧巌先生のお供をして洲本臨海実習のお手伝いにいった。参加者も多く，柳学園の山西元先生はじめ多くの方々にお世話いただいた。採集や実習内容については殆ど記憶していないが，宿舎での蚤の大挙来襲には吃驚したことを未だに憶えている。その後，昭和41年（1966年）学会創立20周年に当り紅谷会長名で学会から表彰状を戴いた。広島へ来てからは何のお役にも立っていないのにと大変恐縮した。

生物学会の草創時代，多くの先輩諸先生のお世話になった。既に挙げた方々の他，井上完爾，大浦茂樹，川崎正悦，陸井初治，倉橋一三，竹中茂，槌賀安平先生などの大先輩もご健在であった。若いところでは本部の渋谷久雄，当津隆，龍野の建部恵潤さんなどを思いだす。手元